

# News Letter

2024.5.17

編集：採用担当 久能

就活生のみなさん、こんにちは。

ソリューション・アンド・テクノロジーの採用担当 久能です。

News Letterでは、セミナーや選考ではなかなかお伝えできない、リアルな若手社員の仕事内容やSOLTYの製品などをご紹介します！

## TOPIC

### SaaSシステムの顧客への導入事例

SOLTYの自社製品「WiMS/SaaS」を、お客様にご利用いただくまでには様々な手順があります。今回は大手教育業界のお客様を例に、WiMS/SaaS勤務管理システムの導入工程をご紹介します！全体の流れがイメージしていただけたら嬉しいです。

～今回登場のシステムエンジニア～

H.Gさん

2020年新卒入社

エンタープライズHRテック統括部

アシスタントマネージャ

～導入企業～

大手教育業界のお客様

★通信教育や模擬試験、雑誌などをはじめとする教育や生活をメイン領域にビジネスを展開されています

★従業員数：約3,700名

#### —— プロジェクトがキックオフした後はどのような手順で進めていきますか？

大きく分けて、下図のような流れで進めていきます。期間はプロジェクトによって異なりますが、今回は2022年4月～2023年5月の約1年間かけて本稼働を迎えました。どのフェーズも一つ一つ大事な工程ですが、中でも要件定義は、その後の工程に繋がる「お客様の業務改善実現のシステムの定義」を決めるのでとても重要です。私も今回のプロジェクトで一番気を遣った部分でした。

要件定義

設計

開発

テスト

本稼働

サポート

#### —— それでは、一つ一つのフェーズについて、詳しく教えてください！

商談を経て、WiMS/SaaSのシステム導入が決定した後は、要件定義フェーズに入ります。要件定義では、顧客の抱える課題や要望をヒアリングし、今までに培った知識や経験、技術から、業務効率化の改善を図ります。企業ごとに就業規則や業務の運用フローが異なるので、それぞれのお客様に合ったソリューションが必要になります。また、併せて、

---

WiMS/SaaS勤務管理システムの標準機能で対応できる部分と、個々のお客様向けにカスタマイズが必要な部分を  
確認し、どのような機能のシステムを使っていたかとの擦り合わせも行っていきます。

打合せの回数はお客様によって異なりますが、今回は約10回ほど実施しました。プロジェクトマネージャと、ベテランの  
システムコンサルタントも参加し、お客様の要望を実現する具体的な提案をまとめた要件定義書の作成を進め、最後  
はお客様の承認をいただきます。

—— お客様との打合せは難易度が高そうですが、最も重要なポイントですね。

**要件定義で導入するシステムの要件が決定したあとは、どのように進めますか？**

次の設計フェーズでは、要件定義フェーズで決定した要件をもとにシステムの仕様を決めていきます。例えば、カスタ  
マイズにより追加するアドオン機能やお客様が操作する画面のデザインなどです。決定した仕様は他のメンバーが作  
成しても想定通りのプログラムができるよう設計書にまとめます。

システムの仕様が決定した後、開発フェーズに移ります。開発フェーズでは、設計書に記載されたとおりにプログラミ  
ングします。今回は、新入社員にも協力いただき、約2か月間をかけて作り上げました。それぞれのアドオンなどが完  
成したら、テストを行います。

—— テストではシステムが正常に動くかを確認するんですか？

その通りです！ただ、一括りにテストフェーズといっても、種類が分かれていて、アドオンなど新規に開発したプログ  
ラムのテスト(単体テスト)を経て、結合テスト→システムテスト→ユーザーテストの順で進めていきます。

結合テストは、作成したアドオンを標準システムと繋げた時に、正常に機能するかを検証します。その後のシステムテ  
ストでは、ユーザーがシステムを使用する時の手順で不具合が起きないかを確認するテスト(シナリオテスト)や、定め  
られた時間で処理ができるかや同時に大人数がアクセスした時にサーバーに負荷がかかり過ぎないか等を確認する  
テスト(パフォーマンステスト)などがあります。

それらが問題なければ、最後にユーザーテストに移ります。ユーザーテストではお客様にシステムを触っていただき、  
実際の運用に近い形で実施するものです。WiMS/SaaSを操作して、使いやすさなどフィードバックをいただきます。  
テストを全てクリアしたら、いよいよお客様にシステムを使っていただく、本稼働です！

—— ついに、本稼働！ようやくお客様に使っていただけるんですね。

お客様の過去の勤務情報などのデータをWiMS/SaaSに移す作業をしてから、ご利用がスタートします。

本稼働後は、お客様(エンドユーザー)の問い合わせに答えることや不備の修正、今よりもっと快適にご利用いただく  
ためのカスタマイズ提案など、随時サポートをして、長い期間、WiMS/SaaSを使い続けてもらえるようにフォローし  
ていきます。

—— 一年間かけて、この工程を進めていったんですね。無事に本稼働を迎えた時は、ほっとしたことと思います。

**システム導入を進める中でやりがいやお客からのお声があったらぜひ教えてください！**

私は入社3年目という若い年次で大手企業の要件定義からサポートまで一連の流れを任せていただけたことで、今  
後に活かされる経験を積むことができたと感じています。お客様からも「リアルタイムで勤務情報を把握できるよう  
になって、とても快適に仕事ができるようになった」というお言葉もいただき、頑張って良かったです！

**ありがとうございました！**

**お客様に快適に使っていただくために、**

**時間をかけてシステムを作り上げていることが分かりました！**

---